

指導教員名	清水信年
-------	------

活動区分	高品開発型	連携先	企業
			自治体・国

～ 尼崎市内企業魅力発信事業 ～

活動の様子



企画・活動概要

尼崎市役所から紹介いただくものづくり企業の技術力を生かし、マーケティングを学ぶ大学生が新商品やマーケティング活動の企画提案を行う事業である。新たに2021年10月より、食品サンプルの製造販売や関連サービスを展開しているニナクルterra(尼崎市築地4-1-3-101)にご協力いただけることになり、清水ゼミ2年生の4チームが挑戦することとなった。最終報告会を行なう予定である2022年5月までの約半年に及ぶ取り組みだが、今回の社会共創活動助成の申請はその前半期間にあたる2022年1月の中間報告会までのものである。

経緯・背景・目的

当事業に清水ゼミは2015年から参画しており、毎年度異なる市内企業にご協力をいただいている。当事業に取り組むことには、尼崎市や当該企業においては高い技術力を有することや新事業に挑戦する姿勢があることを示して市内企業をアピールするという狙いがある。大学側においては、実際に当該企業に商品化や事業化を検討していただけるレベルの企画を提案するという、実学教育の機会を得て学生の学びの深化や成長につなげることができるというメリットがある。尼崎市役所や市内企業にも、この点をご理解いただきご協力をいただいている。

取り組む課題

「食品サンプルを通じた新しい消費体験の提案」をテーマに設定した。同社の課題は、食品サンプル技術を用いたビジネスの可能性を広げたいというものである。街の飲食店で食品サンプルが陳列されることが減り、このままでは技術の継承も難しい状況になるという問題意識が背景にあり、新たな顧客層や用途の開拓が求められているなか、単なる新商品提案ではなく消費者が食品サンプルづくり体験をすること、作ったものを自分の生活で使い続けるような消費シーンまで提案すること、食品サンプルづくり体験の現在の主要顧客である「女兒」以外の層を開拓すること、が条件として設定された。



本学(学生)の役割

清水ゼミの学生は4チームに分かれ、それぞれ食品サンプル技術の特性を生かした消費者向け新商品やイベントなどを企画・提案し、それを広く社会にアピールすることにつながるマーケティング施策(SNSの利用など)の提案に取り組んでいる。2022年5月に予定されている最終報告会までに、企画内容をまとめた資料作成と可能であれば試作品の制作も行う。同社ならびに尼崎市役所の担当者へプレゼンテーションを行なうことが求められている。学生には、日ごろ学んでいるマーケティングや経営学の知識を実践して活かすことが期待されている。

活動結果・成果・学生が成長した点・学生が身につけた能力

2022年1月18日に行われた中間報告会は、新型コロナウイルス感染症の状況によりオンライン開催となった。4チームのプレゼンテーションが行われ、同社や尼崎市役所の担当者からも多くの質問やコメントが寄せられた。この段階では、提案する商品やイベントのコンセプトを仕上げたが、今後は最終報告会に向けてマーケティング活動全体の提案を行えるよう準備を進める。実務家へのプレゼンテーションをする経験はほとんどの学生にとって初めてのことであり、自分たちの考えを相手に受け入れてもらうにはどのようなやり方が必要なのか、自分たちにとって何が不足しているのか、実感をもって学ぶ機会となった。



指導教員および関係者の紹介

<指導教員>

商学部
マーケティング学科
教授
清水信年(シズノブシ)

<専門・担当科目等>
マーケティング論・製品開発論

<関係者・企業等>

尼崎市経済環境局経済部しごと支援課、ニナクル.terra